

## 対馬暖流の岸沿いの北上流みられず 対馬暖流の流量は平年並み 今後の沿岸水温は平年よりも高く推移する

2024年9月22日～29日にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。  
積丹半島以南の海域では暖水渦、冷水渦が形成され、対馬暖流の岸沿いの北上流はみられませんでした。観測点間の流量計算の結果、対馬暖流は石狩湾以北のはるか西方から本道に近づいている模様です（図1c）。  
対馬暖流の流量は約0.9Sv（1 Sv=10<sup>6</sup> m<sup>3</sup>/s）で、ほぼ平年並みです（10月流量の平年値は0.9Sv）。  
50 m深水温は7～19℃で、道南の沖合域で平年よりも約4～10℃高く、石狩湾以北の沿岸域で平年よりも約2～3℃低くなっています（図1a,b）。

9月下旬の余市前浜水温は「やや高い」ですが（※1）、向こう1ヶ月の気温の予報は高くなる確率が60～70%以上となっていますので（※2）、今後、沿岸水温は平年よりもさらに高く推移することが予想されます。

※1 <https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyuu/suion/index.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>



余市前浜水温 気象庁1ヶ月予報

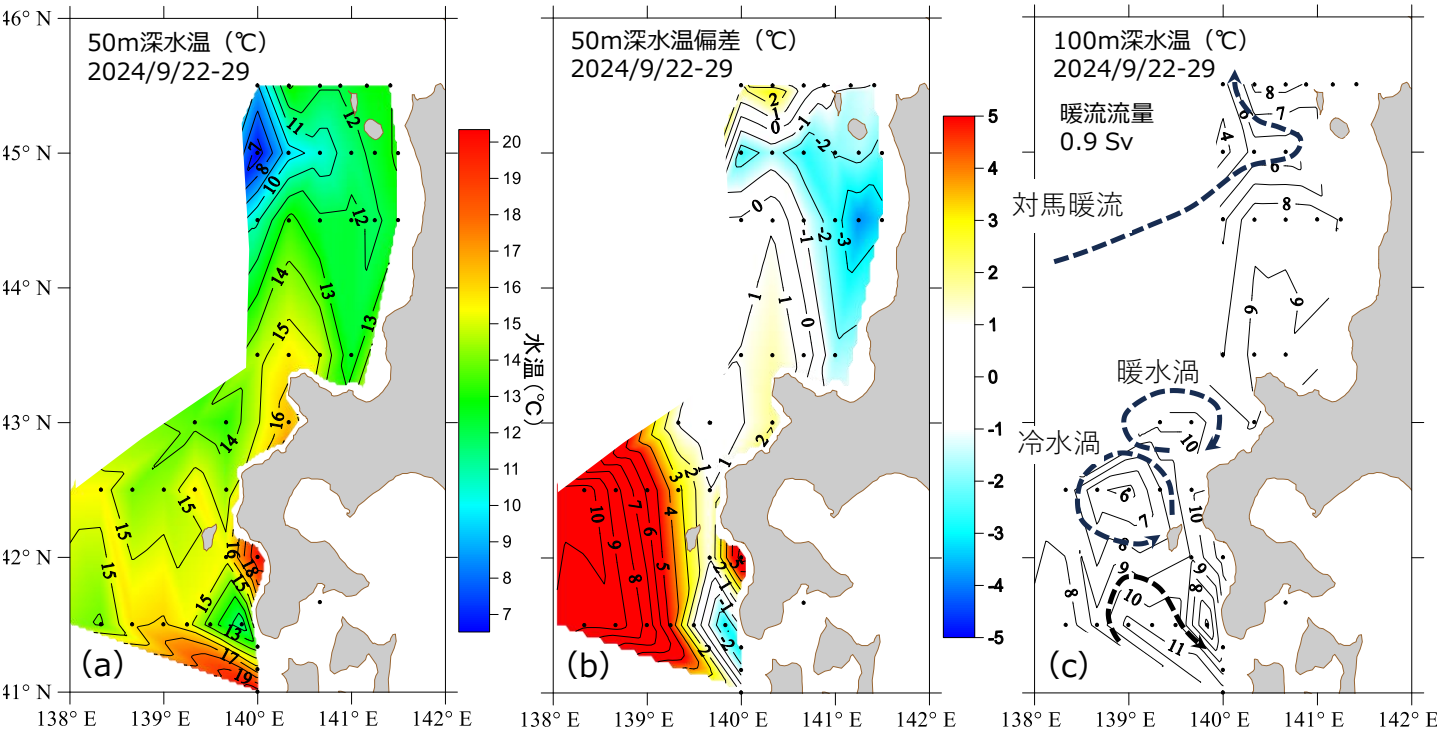


図1 2024年9月下旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路（矢印）。水温偏差は過去30年（1989年～2018年）の平均値から算出。流量の単位はSv（=1×10<sup>6</sup>m<sup>3</sup>/s）。